

おわりに

複合構造研究部会の活動も丸2年間が経過した。担当委員各氏の協力により本年度の研究成果をとりまとめることが出来た。委員会活動の名目のもとに、本四架橋の見学と本島における親睦会や忘年会等、アルコールの助けを借りながら委員会のコミュニケーションを深めたことも、月1回の定例委員会への出席率向上、さらに研究活動の活性化を実現することが出来た。また、法人各位の御協力により委員の変更も少なく、委員会のポテンシャルも向上してきており新しい研究テーマに向けて意欲的に取り組む姿勢がみえている。

今後の関係各位の御支援をお願いする次第である。